

時間学特別セミナー

日時：2025 年 11 月 26 日（水）

15 時 00 分～17 時 00 分

会場：吉田キャンパス総合研究棟 3 階

フォーラムスペース

講師：シュタイネック・ラジ 先生

（チューリッヒ大学 教授、時間学研究所 客員教授）

【道元禅師における時間論と寺院生活の時間制御】

発表者の Zen Time: Dōgen's Uji in Context (SUNY Press, 2025)に基づくこの発表は、江戸時代から日本曹洞宗の開祖として尊敬されてきた道元禅師（1200-1253 年）の有名な著作『正法眼蔵』「有時」の新解釈を試みる。道元は「有時」の中で、「時間」を救済を可能にする存在条件として考えている。

なお、「有時」の題名がハイデガーの代表作『存在と時間』と関連付けられたこともあって、このテキストは昭和初期以来、比較哲学において極めて重要な位置を占めてきた。同時に、もともと寺内の直弟子たちを相手に説かれていた『有時』巻の内容は、「時間の哲学」として読まれることで、寺院生活の文脈から大きく切り離されるようになった。そこで本発表では、寺院共同体の指導者としての道元の実践的ビジョンを基に、この画期的な著作の解釈がどのように変わるかを模索する。ハイデガーの実存主義の流れを汲む従来の解釈が、道元の概念を時間の測定や計算と強く対立させるものとして位置づけてきたのとは対照的に、本発表では道元が時間計測をいかに巧みに用い、時折の特異性を識別した上でそれを「仏道」の理解と実践と結びつけているかを解明する。

どなたでもご参加いただけます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

＊日本語にて講演

＊事前申し込み不要

＊参加無料

問合せ先

山口大学時間学研究所

TEL：083-933-5848

E-mail：sh076@yamaguchi-u.ac.jp